



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年1月29日

上場会社名 丸八証券株式会社 上場取引所 東
コード番号 8700 URL <https://www.maruhachi-sec.co.jp/>
代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）鈴木 卓也
問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員 マネジメント本部長 （氏名）津坂 聡 TEL 052-307-0850
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	2,675	14.3	2,661	13.8	617	73.2	803	65.7	567	73.8
2025年3月期第3四半期	2,341	1.2	2,338	1.3	356	△15.1	484	△7.2	326	△7.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	142.30	—
2025年3月期第3四半期	81.86	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	自己資本規制比率
	百万円	百万円	％	円 銭	％
2026年3月期第3四半期	14,074	8,168	58.0	2,046.58	709.6
2025年3月期	9,917	7,593	76.6	1,902.64	620.2

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 8,168百万円 2025年3月期 7,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2026年3月期	—	—	—		
2026年3月期（予想）				—	—

（注）金融商品取引業は、業績を適正に予想することが困難なため、配当予想額は未定としております。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、業績を適正に予想し、開示することは極めて困難であります。そのような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与えるおそれがあるため、当社は業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期、中間期および通期の業績速報値を決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	4,042,970株	2025年3月期	4,042,970株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	51,890株	2025年3月期	51,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	3,991,082株	2025年3月期3Q	3,991,100株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、「3. 2026年3月期の業績予想」に記載のとおり、業績予想の開示を行っておらず、配当予想につきましても開示を行っておりません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. 補足情報	8
2026年3月期 第3四半期決算資料	8
(1) 受入手数料	8
(2) トレーディング損益	9
(3) 自己資本規制比率	9
(4) 損益計算書の四半期推移	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）のわが国経済は、食料品を中心とするインフレの高止まりが消費マインドを下押ししたものの、企業の前向きな賃上げ姿勢や高市新政権の政策への期待などが景気を下支えしました。一方、米トランプ政権が日本に対する関税を引き上げたため、対米輸出など経済活動の一部に悪影響が出ています。

海外経済においては、「トランプ関税」の影響が総じて限定的なものとなる中、米国経済は雇用の減速など一部を除いて概ね順調に推移しました。一方、ユーロ圏では中核国である独仏経済の低迷によって、低成長を余儀なくされました。またアジアにおいては、インド経済が引き続き高い成長を維持したものの、中国経済は内需の弱さから減速気味で推移しました。

国内株式市場では、4月に35,900円台で始まった日経平均株価が、「トランプ関税」への懸念から一時30,700円台まで急落しましたが、関税の一部停止が公表されたことで40,000円台を回復しました。さらに生成AI市場の拡大期待や、高市政権による積極財政への思惑が高まったことから、11月には史上最高値となる52,600円台をつけた後、50,300円台で12月の取引を終えています。なお、2025年4月から2025年12月までの東証プライム市場の1日当たり平均売買代金は6兆222億円（前年同期の1日当たり平均売買代金は5兆29億円）となっています。

米国株式市場では、4月に41,800ドル台で始まったダウ平均株価が、「トランプ関税」を巡る不透明感から一時36,600ドル台まで急落しました。その後は、相互関税による景気や企業収益への影響が比較的軽微に留まる中、「生成AI相場」の継続や米利下げ再開などを材料に概ね堅調に推移し、一時48,800ドル台をつけた後、48,000ドル台で12月の取引を終えています。

このような状況の下、当社では地域に密着した対面による提案営業をビジネスの柱とし、お客様の最善の利益を追求すべく、国内外の株式、投資信託および外国債券など、ニーズに合わせた商品ラインナップの拡充を図っております。また、地元企業や自治体の役職員を対象としたセミナーを通じて金融リテラシーの向上を後押しするとともに、将来にわたって安心安全なお取引を続けていただくために「家族サポート証券口座」の取扱いを開始するなど高齢社会において求められるきめ細やかなサービスをご提供することで、地域に根差したお客様本位の業務運営を行っております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、営業収益26億75百万円（前年同期比14.3%増）、純営業収益26億61百万円（同13.8%増）、営業利益6億17百万円（同73.2%増）、経常利益8億3百万円（同65.7%増）、四半期純利益5億67百万円（同73.8%増）となりました。

また、業績の概要は以下のとおりであります。

①受入手数料

当第3四半期累計期間の受入手数料は、19億58百万円（前年同期比16.7%増）となりました。その内訳は以下のとおりであります。

（委託手数料）

「委託手数料」は、12億75百万円（同38.0%増）となりました。これは主に、株式の委託手数料が12億61百万円（同39.6%増）となったことによるものです。

（募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料）

「募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料」は、4億34百万円（同21.2%減）となりました。これは主に、投資信託の販売手数料の減少によるものです。

（その他の受入手数料）

「その他の受入手数料」は、2億48百万円（同22.2%増）となりました。これは主に、投資信託の信託報酬の増加によるものです。

②トレーディング損益

「トレーディング損益」は、6億29百万円（同11.1%増）となりました。これは主に、株券等トレーディング損益の増加によるものです。

③金融収支

金融収支は、73百万円の利益（同21.0%減）となりました。これは、「金融収益」が87百万円（同8.9%減）、「金融費用」が13百万円（同431.2%増）となったことによるものです。

④販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、20億44百万円（同3.1%増）となりました。これは主に、「人件費」が67百万円増
加し11億29百万円（同6.3%増）となったことによるものです。

⑤営業外損益

営業外損益は、1億85百万円の利益（同45.0%増）となりました。これは主に、「投資有価証券売却益」およ
び「受取配当金」によるものです。

（2）当四半期の財政状態の概況

①資産

当第3四半期会計期間末の総資産は、2025年3月末（以下、前事業年度末）と比べ41億57百万円増加し140億
74百万円となりました。主に変動した項目としては、「現金及び預金」の41億22百万円増加、「信用取引資産」
の7億21百万円増加、「預け金」の5億22百万円減少であります。

②負債

負債は、前事業年度末と比べ35億82百万円増加し59億6百万円となりました。これは主に、「預り金」が30億
23百万円増加、「信用取引負債」が2億84百万円増加したことによるものです。

③純資産

純資産は、前事業年度末と比べ5億74百万円増加し81億68百万円となりました。これは、「四半期純利益」に
より5億67百万円増加、「その他有価証券評価差額金」の変動により2億45百万円増加、「剰余金の配当」によ
り2億39百万円減少したことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

金融商品取引業は、経済情勢や市場環境の変動による影響を大きく受ける状況にあり、業績を適正に予想し、開
示することは極めて困難であります。そのような状況において業績予想を開示することは投資家等に誤認を与える
おそれがあるため、当社は業績予想を開示しておりません。それに代えて、四半期、中間期および通期の業績速報
値を決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

（1）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,479,982	6,602,706
預託金	1,300,000	1,500,000
顧客分別金信託	1,300,000	1,500,000
トレーディング商品	143,654	37,200
商品有価証券等	143,654	37,200
約定見返勘定	379,971	107,505
信用取引資産	2,395,503	3,117,231
信用取引貸付金	2,384,113	3,112,439
信用取引借証券担保金	11,389	4,791
立替金	115	317
その他の立替金	115	317
短期差入保証金	50,000	100,000
有価証券	3,152	—
預け金	522,140	—
前払費用	27,662	56,181
未収入金	97,896	39
未収収益	123,159	117,900
その他の流動資産	913	1,733
流動資産計	7,524,152	11,640,815
固定資産		
有形固定資産	219,388	205,236
建物	155,516	143,801
器具備品	63,872	61,435
無形固定資産	11,064	8,839
電話加入権	100	100
ソフトウェア	10,964	8,739
投資その他の資産	2,162,870	2,219,711
投資有価証券	1,718,597	1,721,258
出資金	1,000	1,000
従業員に対する長期貸付金	1,550	2,500
長期差入保証金	371,257	420,332
長期前払費用	4,509	3,518
繰延税金資産	41,130	46,546
その他	42,825	42,555
貸倒引当金	△18,000	△18,000
固定資産計	2,393,323	2,433,787
資産合計	9,917,476	14,074,603

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
信用取引負債	254,876	539,142
信用取引借入金	196,957	482,765
信用取引貸証券受入金	57,918	56,376
預り金	1,485,286	4,508,379
顧客からの預り金	645,641	971,658
その他の預り金	839,645	3,536,721
受入保証金	170,810	278,920
未払金	27,086	47,471
未払費用	128,515	153,400
未払法人税等	70,109	183,036
賞与引当金	81,000	90,000
その他の流動負債	129	—
流動負債計	2,217,814	5,800,351
固定負債		
資産除去債務	81,866	82,042
その他の固定負債	1,000	1,000
固定負債計	82,866	83,042
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	23,154	23,154
特別法上の準備金計	23,154	23,154
負債合計	2,323,835	5,906,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,751,856	3,751,856
資本剰余金	336,225	336,225
利益剰余金	3,860,348	4,188,812
自己株式	△113,756	△113,787
株主資本合計	7,834,672	8,163,106
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△241,031	4,948
評価・換算差額等合計	△241,031	4,948
純資産合計	7,593,640	8,168,054
負債・純資産合計	9,917,476	14,074,603

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
営業収益		
受入手数料	1,678,975	1,958,833
委託手数料	924,492	1,275,830
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等 の取扱手数料	550,735	434,089
その他の受入手数料	203,746	248,914
トレーディング損益	566,502	629,492
金融収益	95,675	87,202
営業収益計	2,341,153	2,675,528
金融費用	2,579	13,701
純営業収益	2,338,574	2,661,827
販売費及び一般管理費	1,981,940	2,044,185
取引関係費	235,622	235,984
人件費	1,062,453	1,129,755
不動産関係費	158,946	156,326
事務費	401,060	399,521
減価償却費	38,359	37,853
租税公課	38,163	41,880
その他	47,335	42,864
営業利益	356,633	617,641
営業外収益		
投資有価証券売却益	102,883	156,392
受取配当金	32,547	32,180
その他	260	229
営業外収益計	135,691	188,802
営業外費用		
投資顧問料	3,780	1,926
支払手数料	3,393	902
その他	388	164
営業外費用計	7,561	2,993
経常利益	484,763	803,450
特別利益		
投資有価証券売却益	4,730	—
特別利益計	4,730	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
金融商品取引責任準備金繰入れ	791	—
特別損失計	791	0
税引前四半期純利益	488,702	803,450
法人税、住民税及び事業税	132,198	240,935
法人税等調整額	29,809	△5,415
法人税等合計	162,007	235,519
四半期純利益	326,694	567,930

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社は、「投資・金融サービス業」という単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	38,359千円	37,853千円

3. 補足情報

2026年3月期 第3四半期決算資料

（1）受入手数料

① 科目別内訳

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	前年同期比(%)	前事業年度
委託手数料	924,492	1,275,830	138.0	1,263,221
（株券）	(904,177)	(1,261,985)	(139.6)	(1,235,400)
（受益証券）	(20,315)	(13,844)	(68.1)	(27,821)
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	550,735	434,089	78.8	706,766
（株券）	(67)	(—)	(—)	(67)
（債券）	(54)	(49)	(90.7)	(62)
（受益証券）	(550,613)	(434,039)	(78.8)	(706,636)
その他の受入手数料	203,746	248,914	122.2	278,951
（株券）	(1,985)	(1,905)	(96.0)	(2,686)
（債券）	(148)	(39)	(26.5)	(148)
（受益証券）	(200,013)	(245,530)	(122.8)	(273,952)
（その他）	(1,598)	(1,438)	(90.0)	(2,162)
合計	1,678,975	1,958,833	116.7	2,248,939

② 商品別内訳

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	前年同期比(%)	前事業年度
株券	906,230	1,263,890	139.5	1,238,154
債券	203	89	43.8	211
受益証券	770,942	693,415	89.9	1,008,410
その他	1,598	1,438	90.0	2,162
合計	1,678,975	1,958,833	116.7	2,248,939

（２）トレーディング損益

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間	当第３四半期累計期間	前年同期比（％）	前事業年度
株券等	525,234	617,154	117.5	670,561
債券等	41,268	12,338	29.9	43,832
合計	566,502	629,492	111.1	714,394

（３）自己資本規制比率

（単位：百万円）

	前第３四半期末	当第３四半期末	前事業年度末
固定化されていない自己資本の額（Ａ）	6,898	7,383	6,636
リスク相当額（Ｂ）	1,101	1,040	1,069
市場リスク相当額	384	298	313
取引先リスク相当額	69	84	103
基礎的リスク相当額	647	656	652
自己資本規制比率 （Ａ）／（Ｂ）×１００％	626.3	709.6	620.2

（４）損益計算書の四半期推移

（単位：百万円）

科 目	前第３四半期 自2024. 10. 1 至2024. 12. 31	前第４四半期 自2025. 1. 1 至2025. 3. 31	当第１四半期 自2025. 4. 1 至2025. 6. 30	当第２四半期 自2025. 7. 1 至2025. 9. 30	当第３四半期 自2025. 10. 1 至2025. 12. 31
営業収益	866	740	729	991	953
受入手数料	555	569	557	679	721
トレーディング損益	269	147	148	281	199
金融収益	41	23	23	30	33
金融費用	0	2	1	5	7
純営業収益	865	738	728	986	946
販売費及び一般管理費	668	653	643	690	710
取引関係費	86	88	74	79	81
人件費	363	351	344	390	394
不動産関係費	50	49	53	52	50
事務費	127	122	136	123	139
減価償却費	13	14	11	13	12
租税公課	13	14	9	16	16
その他	12	11	12	15	15
営業利益	197	84	85	296	236
営業外収益	20	31	25	28	134
営業外費用	1	1	1	0	0
経常利益	216	114	109	323	370
特別利益	—	—	—	—	—
特別損失	—	0	—	0	0
税引前四半期純利益	216	114	109	323	370
法人税、住民税及び事業税	57	69	△5	139	106
法人税等調整額	14	△20	21	△38	11
四半期純利益	144	65	92	222	252